

子どもたちが安心して学び合い、 質の高い学びに挑戦する授業をめざして ～「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした取り組み～

南小では今年度、子どもたちが安心して「わからない。ここ、どうするの」と仲間に相談できる授業、そして、仲間と学び合って、より質の高い学びに挑戦する授業をめざして、授業改革の取り組みを始めました。

仲間と相談しやすい隊形にする

最初に取り組んだのは、教室の隊形を変えることです。

4月、すべての教室で「テスト隊形」（子ども一人一人の机が切り離された隊形）を廃止し、となり同士の机を合わせて、仲間と相談しやすい隊形にしました。

ペアやグループの学びに取り組む

次に、ペアやグループで対話できる学びに取り組みました。

算数の授業を中心に、1・2年生は全体の学びとペアの学びに、3～6年生はグループの学びに取り組みました。

ふたば学級は、一人一人に応じた学びを大切にするとともに、コの字隊形やグループ隊形にして、仲間とのかかわりを大切にしたい学びにも取り組みました。



探究型の学習課題「ジャンプの課題」への挑戦

また、子どもたちがより質の高い学びに挑戦できるように、算数の授業を中心に、探究型の学習課題である「ジャンプの課題」に取り組みました。

学んだ知識を活用して探究する「ジャンプの課題」を提示すると、夢中になって学び合う子どもたちの姿が見られるようになりました。

「主体的・対話的で深い学び」の実現へ

南小で取り組んでいる授業改革は、国が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした取り組みでもあります。子どもたちが学びの主人公となり、仲間との対話を通して、各教科の学びを深めていく。こうした「主体的・対話的で深い学び」をどの教室にも実現させるため、これからも授業改革の取り組みを続けます。

【素敵な宝物がいっぱい（宝物展）】

子どもたちは、43日間の夏休みを利用して、自分一人で・おうちの人に協力してもらいながら素敵な作品を作り上げました。各学級で「宝物発表会」をしたのち、3つの会場で「宝物展」を開催したところ、多数の保護者の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。

